

使命感を胸に熱い訓練

平成17年度の村消防団特別点検（村、村消防団、村婦人消防協力隊主催）は4月24日、普代中学校グラウンドを主会場に行われました。道合政喜団長を中心に団本部や各分団などが、有事に備え規律訓練や消防ポンプ操作訓練を披露。大規模火災防ぎよ訓練では、役場庁舎で火災が発生したという想定で久慈消防署の梯子車との合同放水訓練も行い、「村を守る」——その使命に燃えた熱い訓練が展開されました。



鋭い目で放水を行う消防団員。村章を胸に「村を守る」——その心意気が伝わります

安全な村願、決意新た

特別点検は午前7時30分から始まり、村消防団120人、村婦人消防協力隊（大上澄子隊長）50人、同普代分署（柴田修佑所長）、村老人クラブ（野崎幸太郎会長）20人、少年消防クラブ13人、幼年消防クラブ27人など約250人が参加しました。

表彰では消防団員など功労者57人と団体を表彰し、3月18日、岩手県民会館で開催された平成16年度岩手県消防表彰式で表彰された19人と2団体の表彰披露も行われました。

規律訓練では小隊・中隊訓練、ポンプ操作訓練など、きびきびとした動作で訓練の成果を披露。婦人消防協力隊の応急手当訓練では、久慈管内

でも初の試みのAED（自動対外式助細動機）を用いた心肺蘇生法訓練も新たに行われました。

そのほか、老人クラブ会員や少年消防クラブ、幼年消防クラブも特別参加し、バケツリレーや消化器を使つての初期消火訓練を行い、皆で安心して住める村づくりに決意を新たにしました。

大規模建物火災防ぎよ訓練では、会場を役場庁舎に移し、久慈消防署の屈折梯子車での救助訓練に続き、サイレンとともに各分団のタンク車、ポンプ車が役場周辺に集合。一斉に庁舎に放水し、本番さながらの訓練を行いました。表彰、表彰披露された方々は、左ページのとおりです。